

路線バス確保維持事業の継続について

●概要

路線バス確保維持事業について、業務委託終了後は運行事業者による自主運行を目指しているが、収支状況を鑑みると非常に困難。彦成地区における持続可能な公共交通を目指し、本事業の継続に関する方向性を伺うものである。

●実績

	輸送人員（人）		収入（円）		実車走行		事業者収支 （赤字額）
	月平均	合計	月平均	合計	月平均	合計	
R1 年度 (1～3 月)	7,743	23,230	1,769,514	5,308,541	8,300	24,901	-581,959
R2 年度	6,614	79,363	1,489,830	17,877,961	8,606	103,275	-5,684,039
R3 年度	7,427	89,118	1,673,215	20,078,578	8,592	103,106	-3,483,422
R4 年度	7,549	90,585	1,719,767	20,637,205	8,594	103,127	-2,924,795
R5 年度	7,805	93,655	1,802,579	21,630,948	8,612	103,338	-1,931,052
R6 年度 (4～9 月)	8,067	48,403	1,887,048	11,322,287	8,572	51,434	-458,713
計 (57 カ月)	7,534	424,354	1,723,659	96,855,520	8,546	489,181	-15,063,980

●本事業の継続検討

- ・少子高齢化社会の進行や2024年問題等による運転士不足の深刻化など、昨今の社会情勢の変化に伴い、事業者の収支は大変厳しい状況におかれており、市からの継続的な支援がなければ、コミュニティバスの運行を継続できない状況に直面している。
- ・令和元年度より輸送人員は増加している。輸送人員が年間9万人と高止まりしていることから、その他の公共交通手段に転換することが難しく、路線バスによる運行支援が適当と思われる。

→以上をふまえて、令和7年1月から3月までの期間においては、路線バス確保維持事業を継続する方向性としていきたい。